

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斉藤 親

事業名	JR土讃線連続立体交差事業 <small>どさんせん</small>	事業区分	連続立体交差事業	事業主体	高知県
起終点	自：高知県高知市比島町二丁目 至：高知県高知市福井東町 <small>こうち ひしまちょうにちようめ</small> <small>こうち ふくいひがしまち</small>			延長	4.1 km
事業概要	本事業は、高知駅付近（4.1km）を連続立体交差化することで11箇所の踏切を除却し、都市交通の円滑化と安全を確保するとともに、鉄道により分断されている南北市街地の一体的で均衡のとれた発展を図るものである。				
H6年度事業化	H7年度都市計画決定	H8年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	460億円	事業進捗率	73%	供用済延長	- km
踏切交通遮断量	178,700 台時/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 9.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 114 / 498 億円 事業費：114/498億円 維持管理費： / 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,049 / 1,049 億円 走行時間短縮便益：854/854億円 走行費用減少便益：132/132億円 交通事故減少便益：63/ 63億円	基準年	平成15年度
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（現道における踏切遮断交通量10,000台時/日以上での踏切道の除却効果） ・都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携効果）等 				
関係する地方公共団体等の意見	本事業による高知駅周辺の交通混雑の緩和や新たな都市拠点の創出には期待が大きく、地元経済団体や産業関連団体により構成される高知駅周辺都市整備促進期成会より度々整備促進の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	一体的に施行する土地区画整理事業や関連街路事業の進捗により、徐々に基盤整備は進んでいるものの、踏切道を含めた周辺地域の渋滞緩和には至っていない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部において用地交渉が難航し、仮線工事及び高架橋本體工事の着手に時間を要している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成16年度内に用地買収を完了し、全区間で高架橋本體工事に着手することにより、平成19年度の高架切替を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	新しい高知駅舎については、景観検討委員会の提案に従い、拠点街区のシンボルとなり、乗り継ぎ等交通結節機能の強化や利便性向上のため大架構（大屋根）の整備を行う。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上のとおり、事業の必要性、重要性は不変であり、早期の事業完成に努める必要がある。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。